

セブン-イレブン店舗の新エリア展開 鹿児島県への初出店に向け活動開始

～2011年3月に霧島市・曾於市へ出店～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン(東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>井阪 隆一)は、このたび、2011年3月に鹿児島県へ初出店することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

2010年10月よりセブン-イレブン加盟店への募集・契約を本格化し、2011年3月に、大隅地方の霧島市、曾於市において出店を開始いたします。出店にあたっては既存出店エリアである宮崎県内の工場・配送センターを中心とした製造・物流網を活用いたします。2011年度中には鹿児島市内への出店を開始し、2013年度(2014年2月末)までの3年間に、鹿児島県内へ約200店舗の展開を計画しております。

なお、九州地区への出店は1979年4月に福岡県より開始し、このたびの鹿児島県への進出で九州全域への出店となります(2010年8月末現在 九州地区店舗数 1320店舗、国内では38都道府県に12,907店舗を展開)。

当社は、1974年のセブン-イレブン1号店出店当初より「既存中小小売店の近代化と活性化」「共存共栄」の実現を経営理念とし、また、高密度多店舗出店方式により、製造・物流の両インフラの拠点内における出店を積極的に推進してまいりました。時代や環境の変化とともに、コンビニエンスストアの役割も大きく変化する中、セブン-イレブンは『近くて便利』な店舗であり続けることを主眼として、商品・サービスの開発においても取り組みを強化しております。

惣菜や弁当等、日常的にお買い求めいただける商品はもとより、グループMD(マーチャンダイジング)による味・鮮度を追求した高品質なオリジナル商品や、世界規模で推進するグローバルMD商品の展開、さらに、便利な暮らしを応援する新しいサービスの開発を行っております。

銀行ATMの設置、セブン&アイ HLDGS. 独自の電子マネー『nanaco(ナナコ)』のサービスや、店舗とインターネットを連携したサービス等も実施し、出店にあたっては既存小売店様からの業態転換を進めることによって共存共栄を図る等、地域に密着した店舗づくりを推進してまいります。

※このニュースリリースは鹿児島県政記者クラブ、および東京商工会議所記者クラブに同時に配信しております。

以上